



カウンセリングだより

保育観察エッセイ④

はったつがみえるよ!!

～ぶんかのこどもたち～

キンダーカウンセラー
宮本 祐子

3 学期の相談日は 1/21(月)、2/4(月)、3/11(月)の 3 回です。

どなたでも、お気軽におこし下さい。

毎週火曜日に子育て支援室「ぶんかベビーカフェ」を開放しています。
乳児の子育て中のお母さん、予約や連絡は要りませんので、お茶を飲みながら
育児相談や情報交換をして、親子でリフレッシュしてください!

♪幸いにも、私はキンダーカウンセラーとして、子ども達の中に入って一緒に遊ぶことができます。

毎月 1 回の訪問で、触れ合う時間は限られていますが、頻度が少ない分、子ども達の成長を感じられることが多く、毎回生き生きとたくましく変わっていく姿がとっても楽しみです♪

クリスマスやお正月など、華やかな行事が盛りだくさんの冬休みが終わりました。冬休みは短いです、日頃なかなか会うことのできない親戚の方やいろいろな方と過ごし普段と違った生活をされたご家庭も多く、子ども達にとっても実りの多いお休めで、久しぶりに会われた方は子ども達の成長にびっくりされていたのではないのでしょうか。

日頃、身近に子ども達と生活されている保護者の皆さんはなかなか気づかれないかもしれませんが、子ども達の成長は目覚ましいものと私は常日頃感じています。特に年少さんの成長には目を見張るばかりです。入園してしばらくは、園の生活がわからず不安で泣いてしまうこともあった子ども達も、園の生活に慣れてくるとお友達と一緒に遊んだり活動したりすることが楽しくなって、クラスの一員という自覚も芽生えて、自信をもってきびきびと行動するようになります。3 学期には生活発表会がありますが、年少さんにとっては大勢の前で触ったことのなかった楽器を演奏したり、歌ったりと新しい経験で初めは戸惑うことも多いと思いますが、当日その成長ぶりを見て頂きたいと思います。年中さんは、去年の経験があるので、それぞれ役割が多くなっても、また一段とハツラツと演じてくれることでしょう。年長さんは、幼稚園生活の最後の大きなイベントを、子どもたち同士で協力し合って最高のものになるよう、頑張って披露してくれることでしょう。

『自己効力感』という言葉が聞かれたことはありますか?これは自分自身の可能性を信じる力で「努力すれば自分是可以る、結果は変わる」と信じていることができる力です。この力は子ども達が生きていく上で、色々うまくいかないことがあった時、トラブルがあった時に必要な大事なスキルです。『自己効力感』をつけるにはどうしたらいいのでしょうか。日頃保護者の皆さんは、今までの経験から子ども達に「こうしたらどう?」「こっちのがいいわよ」と断定していないのでしょうか。自分で決定することで、子ども達は達成感を得られます。達成感が得られないと自己効力感も高まりません。かといって、何でも自分で決めることはまだ出来ませんので、幼児期は望ましいものを大人が選んで、2 つのうちからどっちか選び、子ども達に決定権を持たせるようにしていきましょう。子どもを自分で選び取ったことで責任も持ちますし、選んだことができたことで、より自分に自信を持ちます。また新しいこと等に挑戦する時[目標を決めて、少しずつ努力をすることでできるようになるんだ]という実感を味わえるよう見守ってあげて欲しいと思います。幼児期は新しいことばかりに出会います。初めてなので最初からできなくて当然です。新しい事にチャレンジする時も子どもによって大きな違いが出ます。それぞれの子ども達の性格を見ながら、本人ができるようになりたい事を本人とはっきり見定め、少しずつスモールステップでできることを増やします。「努力したらできるんだ!」という達成感を、子ども達と一緒に保護者の皆さんにも味わって欲しいと思います。

先日園庭で、先生と鉄棒で前回の練習をしている子ども達に出会いました。子ども達は最初おっかなびっくりやっていましたが、少しずつ出来るようになると、離れたところにいた私に、目をキラキラさせ、ながら「みて、みて、できるようになったよ」と言いに来てくれました。

キンダーカウンセラーとして、園を訪問させていただいております臨床心理士の宮本祐子と申します。普段は大学の付属機関の心理・教育相談センターで、主に就学前～中学生のお子さんについて、保護者の方々に、発達及び諸々の相談をしております。毎月 1 回、蛭池文化幼稚園にて、保護者のみなさまがお子さんとうどう関わったらいいのかな?など子育ての心配や、ご自分について、またお子さんのお友だち同士の関わりや園での生活の心配などの相談にのらせていただいております。費用の方は幼稚園で負担して下さいますので、保護者の方々の負担はありません。また、園児の保護者以外の方も参加可能です。おこしになるのが難しい方には、出向いて相談を受けることも可能です。どんな些細なことでも「ちょっと聞いてみたいな～」「こんなときどうしたらいいかしら」というときに、お気軽にお越しください。